

## 会 議 録

会議名	平成 27 年度 第 1 回定住自立圏共生ビジョン懇談会
開催日時	平成 27 年 8 月 10 日(月) 14:00~15:15
開催場所	丸亀市役所本館 2 階第 3 会議室
出席者	(出席委員) 板倉宏昭(会長)、森茂(副会長)、安益久広、糸杉宗州、片山昭彦、神原正、 木村亮太、草薙めぐみ、佐藤友光子、角野幸治、高木和代、高橋勝子、都村忠弘 (欠席委員) 平田正敷、山内法知 (敬称略)
議 題	・平成 26 年度事業実施状況 及び 平成 27 年度事業実施予定について
傍聴者	0 人
事務局	丸亀市市長公室長 山田哲也 丸亀市政策課 課長 大喜多章親、副課長 富士川 貴、担当長 志村芳隆、主事 三井友貴 (関係市町) まんのう町企画政策課
発言者	議事の概要及び発言の要旨
大喜多課長	《政策課長挨拶》 ご案内の時間も参りましたので、ただ今から平成 27 年度第 1 回瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョン懇談会を開会いたします。本日は大変お忙しいところ、ご出席をいただきまして、ありがとうございます。申し遅れましたが、4 月の異動により政策課長として参りました、大喜多です。よろしくお願いいたします。 それでは議事に入りたいと思いますが、進行につきましては、会長よりお願いします。
板倉会長	《会長挨拶》 本日の会議でございますが、瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱第 6 条第 2 項の規定において、「会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。」と規定されておりますが、現在、委員総数 15 名中、13 名出席でありますので、会議は有効に成立しておりますことをご報告させていただきます。 本日の議事は、「瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョン」に記載しております 22 の取組みの「平成 26 年度事業実施状況及び平成 27 年度事業実施予定」についてでございます。それでは、この議事について事務局より説明をお願いします。  《議事概要》 次の議題について協議し、結果は以下のとおりとなった。 (1) 平成 25 年度事業実施状況 及び 平成 26 年度事業実施予定について 定住自立圏構想に基づき、2 市 3 町で取り組まれた事業の実施状況と今後の取組に

	<p>についての説明を、政策課 志村担当長より行なった。</p> <p>(※丸で囲んだ番号については、「瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョン」に記載の番号)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①適正受診の啓発 (2市3町で共同制作したチラシについても説明。)</li> <li>③子育てサービス広域化の推進</li> <li>⑤中小企業の活性化 (「定住自立圏域就職面接会」についても説明。)</li> <li>⑥地産地消の推進</li> <li>⑧金毘羅街道の活用</li> <li>⑨瀬戸内国際芸術祭の誘致・有効活用 (「県外大学生を活用した観光活性化プロジェクト事業」についても説明。)</li> <li>⑪広域的な消防力の強化</li> <li>⑬文化芸術・スポーツ等を通じた交流の促進</li> <li>⑮図書館相互利用の促進</li> </ul>
板倉会長	<p>ただ今事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等はありませんか。</p>
高橋委員	<p>何点か意見があるのですが、まとめて発言させていただきます。まず、いただいている資料の平成27年度事業実施予定に予算額の欄がありますが、これら予算額の一覧をいただけるとありがたいです。</p> <p>③について、今年度から圏域内の病児・病後児保育施設を、圏域住民であれば所在地に関わらず、どの施設でも同額で利用できるようになったということですが、このことを知らない家庭が多いように思います。このような情報が全ての子育て家庭に行き届くよう、周知をしていただきたいと思います。</p> <p>⑤について、対象者に情報が届いていないのですが、定住自立圏域就職面接会のチラシの配布場所と配布部数を教えていただきたいと思います。</p> <p>⑬について、「文化芸術・スポーツ等を通じた交流の促進」とありますが、スポーツについては取り組みが活発に行われているようなので、加えて文化芸術方面の活動も、より積極的に行っていただきたいと思います。</p> <p>⑮について、図書館相互利用による実績が上がっている一方で、今年度の予算額が大幅に減っているのがなぜなのか、理由を教えてください。</p> <p>⑪について、職員研修を圏域で合同開催することによって、どのような効果があがっているかを教えてください。また、より内容を充実させていただきたいと思います。</p> <p>⑫について、どのようなボランティアに、どのくらいの学生が参加しているのかを教えてください。</p>
富士川副課長	<p>就職面接会の周知に関して、配布部数についてはこの場ですぐにお答えすることはできないのですが、配布場所に関してお答えします。県内の大学、短期大学については、事務局の方で各学校を回り、学生へのチラシの配布をお願いして参りました。また県外の学校につきましては、郵送でお送りして、配布をお願いしました。</p>

大喜多課長	<p>学生ボランティアについては、例えば丸亀お城まつりや、丸亀婆娑羅まつりなど、圏域内の行事でのボランティアに参加していただいています。参加人数に関しては、今後さらに拡大していけるように、学生への周知方法を見直したいと思います。</p> <p>予算の一覧については、皆さんにお渡しできるように作成したいと思います。</p> <p>圏域内の子育てサービスについては、情報が全ての子育て世帯に届くよう、周知方法を見直します。</p> <p>文化芸術・スポーツ等を通じた交流の促進については、文化芸術方面の施策も、積極的に練っていききたいと思います。</p> <p>図書館相互利用については、予算額が減少している理由を確認しておきます。</p> <p>職員研修の合同開催については、終了後に参加職員に対してアンケートを実施しておりますが、結果としては好評であると認識しております。効果としては長い目で見る必要があると思いますが、高橋委員さんのおっしゃるとおり、より内容を充実させていきたいと思っています。</p>
板倉会長	<p>他にご意見はございますか。</p>
木村委員	<p>⑤の就職面接会について、学校にチラシの配布をお願いされたとのことですが、私自身は情報を知りませんでした。こういった学生向けの情報は、例えば学校周辺に住んでいる学生に、ダイレクトに周知した方が効果的なのではないかと思っています。</p> <p>⑨の観光活性化プロジェクト事業は県外大学生を対象としていますが、若者の多くは、大学進学をきっかけに県外へ流出していると思うので、対象を高校生にすると、より効果があるのではないかと思います。また、今回のプロジェクトには地元大学生も参加するとのことですが、ワールドカフェにおいて、各グループのリーダーを地元の大学生にしてみてもどうでしょうか。地元大学生の主体性も養われますし、議論も活発になるのではないかと思いますので、ご検討いただきたいです。</p>
大喜多課長	<p>就職面接会の周知方法については、より多くの学生に情報が届くよう、見直していきたいと思っています。</p> <p>ワールドカフェの実施方法については、いただいたご意見を参考に、検討したいと思います。</p>
佐藤委員	<p>⑭のコミュニティバスの市町間連携についてですが、さらに利用の促進をしていただきたいです。普段自動車で移動をしている方もバスに乗りたいたいと思えるような、魅力的な取組みが必要だと思います。例えば他県では、コミュニティバスで温泉地を巡るような取組みがなされています。また、バス停の位置や運行時間の見直しをして利便性を高め、観光で圏域を訪れる方が、バスでスムーズに移動できるようにしていただきたいです。</p> <p>また丸亀市は、県外にもファンの多い猪熊弦一郎の魅力をもっと発信していくべきだと思います。来年開催される瀬戸内国際芸術祭は、魅力の発信に良い機会だと思います。</p>

	ます。
大喜多課長	検討いたします。
糸杉委員	定期券やお得な割引制度を上手く活用することで、利用促進に繋げていただきたいです。例えば、コミュニティバスで商店街に行った場合に、運賃か商店街の商品購入代金を割引するというのはいかがでしょうか。また、お祭りなどのイベント時には、コミュニティバスの増便や、運行時間の延長をしていただけるとありがたいです。 現在、バスの運行時間や停留所の見直しは行っていますか。
大喜多課長	定期的に見直しを行っていますが、より利用者増に結びつくような取組みが必要だと思います。
高木委員	圏域内で連携して行っている子育てサービスの情報は、全幼稚園、保育所に周知されていますか。広報で周知されているとのことですが、中にはあまり広報を読まない方もいると思うので、確実に情報が届くような周知をしていく必要があると思います。
草薙委員	各市町の HP でも情報発信されていると思いますが、情報量が多いため、必要な情報がどこにあるのかが分かりにくくなっていると思います。圏域共通の子育て支援サイトがあれば便利ではないかと思います。
大喜多課長	圏域共通の子育て支援サイトについては、所管課の意見も聞き、検討させていただきます。
都村委員	圏域で連携して何を行っていくかという判断は、最終的には各市町長に委ねられていると思います。各市町長が集う機会がありましたら、私ども委員の意見を、事務局の方からしっかりと伝えていただきたいです。
大喜多課長	委員の皆様からいただいたご意見については、各市町長で構成される定住自立圏形成推進委員会の中で、今後もお伝えしていきます。
木村委員	先ほど広報をあまり読まない方もいるというご意見がありましたが、圏域内で利用できる共通のクーポン券を、目立つように付けてはどうでしょうか。それがきっかけで広報を手取る方が増えるかもしれませんし、定住自立圏が連携して取組みを行っていることの PR にもなると思います。 また、中心市街地について私なりの意見ですが、ヨーロッパの都市で行われているような歩車分離の実施を、将来的に検討してみてもどうでしょうか。具体的には、中心市街地をコミュニティバスや電車などの公共交通機関で囲み、自動車の進入を禁止するものです。これによって、公共交通機関の利用が促進されますし、まちの景観も

	良くなり、人も集まってくると思います。
大喜多課長	広報のクーポン券については、所管課に相談いたします。また、歩車分離は画期的なアイデアだと思います。たちまち実現させるのは難しいですが、可能な範囲で将来的に検討していけたらと思います。
板倉委員	他にご意見はございますか。
角野委員	先日の就職説明会に、企業側として参加して感じたことですが、働き手が必要とされている介護職や建設業などの企業への人気は、他企業に比べて低かったように思います。働き手を確保するためには、労働環境や待遇を良くしていくことも必要なのではないかと感じました。 また、今回、圏域共同で観光活性化プロジェクトを実施していくのはとても良いことだと思います。観光 PR については各市町が単独で実施するよりも、広域で実施していく方が効果的だと思います。同様に、婚活についても連携していくのが良いのではないのでしょうか。
大喜多課長	婚活については、圏域全体で取り組めるようなことを考えていきたいと思います。
角野委員	就職説明会に関連して、多くの方に圏域に就職していただくことは大事ですが、定住していただくことも大事だと思います。例えば圏域内に居住する方に、圏域外の方よりも多く通勤手当を支給することで、圏域に定住する方を増やすことができると思います。
片山委員	県内就職を希望している学生や、地元のために働きたいと考えている学生は実際のところたくさんいるので、できるだけ多くの学生に情報が届くようにしていただきたいです。
板倉会長	他にご意見はございますか。 他にご意見等もないようでございますので、この議事につきましては、ここまでとさせていただきます。本日予定しておりました議事は終了いたしました。その他として、事務局より何かございますか。
山田市長公室長	先日の定住自立圏形成推進委員会が出された意見として、圏域での観光 PR の取り組みに関してですが、最近、台湾や香港からの観光客が増えているそうです。そこで、中国語や英語に対応した、外国語版の観光パンフレットを圏域で作成してはどうかといったご意見をいただいているので、今後検討していきたいと思っております。
志村担当長	次回会議の開催は、来年の1月から2月を予定しております。日程が決まり次第お知らせいたしますので、ご出席をよろしく願いいたします。

板倉会長	<p>他に、委員の方で何かありましたらお願いします。</p> <p>特に無いようでしたら、以上をもちまして、本日の審議会を終了いたします。長時間のご協議、お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>
------	--